

【5】

# ガンバレ

## とも子ちゃん

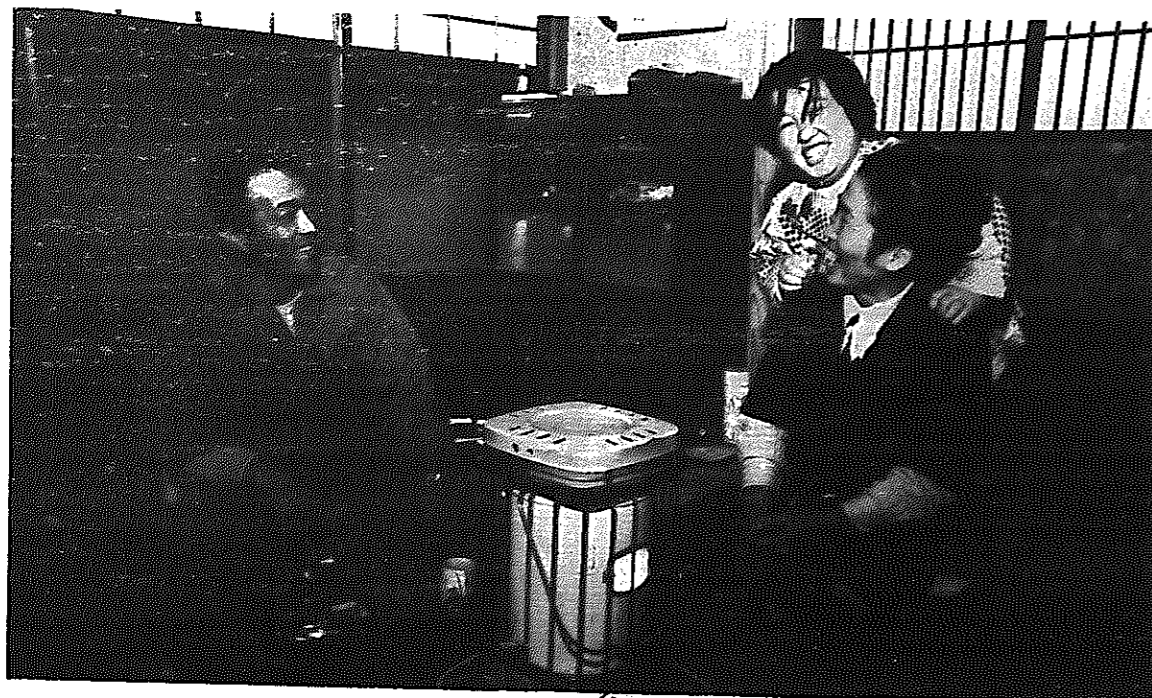
ります。トモちゃんは、まだ恵まれていての方も知れませんが……こういった人たちが、安心して指導訓練を受けられる施設がもっとあればネ」と援護施設の不足を指摘する。

ちなみに、県では、昨年から年次的に精薄者、身障者施設を建設する考えを、明らかにしている。



▲ 休息のひととき、ほかのお弟子さんたちと雑談。笑いがつきない。

◀ 趣味は生け花。池の坊初伝の腕前。彼女にとっては心やすまるときでもある。



◀ 家にもどれば、思い切り両親に甘える。「最初のうちは毎日曜日、でも今は二、三週間に一回くらいしか帰ってこない」とお母さん。

広報 しろね / 昭和52年12月1日発行



▲ 仕事場では甘えは許されない。真剣に針先を追う。

矢部知子さん(十六歳十二道)幼いとき不運にも小児マヒをわずらい、肉体的に大きなギャップを背負う。でも、彼女は負けない!

庄瀬小、中学校の九年間、往復五キロの道のりを通いとおし、今年の三月、中学校をりっぱに卒業——在学中は、人の面

倒みもよく、みんなからは「トモちゃん」の愛称で親しまれてきた……。

現在は和裁の技術を身につけるため、新潟市の石崎裁縫所に住み込みで修業中。

「自分からこの道を選んだ」とお母さんはいう。生まれて初めて、親元から離れて暮らす知

子さん——「もうだいぶなれました」と笑顔で話してくれた。その表情からは、寂しさなど少しも感じられない。暖かい両親や先生、友だちの愛につつまれ、明るく素直に自分のめざす道を、歩み続けている。

石崎先生は「お父さん、お母さんの前向きな姿には頭がさが

### 身体障害のりこえて



▲ 先生の指導はきびしいが「自分のためなんだ」ということを、彼女はよく知っている。

### 善行青少年を表彰

11月6日「人の模範となる行いをした、または、している」ということで、小野丈司さん、矢部知子さん、白根少年剣士会が、市青少年問題協議会から表彰されました。理由は、次のとおりです。

■小野丈司さん(21・下道湯) 交通事故の負傷者を、病院に運び、助ける。

■矢部知子さん(16・十二道) 不利な肉体的条件にもかかわらず、明るく生きている(組写真で紹介)。

■白根少年剣士会(巖長平会長) 剣道を通じて、青少年の健全育成に尽す。